



WORKSTYLE

Interview Report

海外の現地法人とコミュニケーションを
とりながら、素早く、
かつ正確に全社の予算を管理する。
責任は重大ですが、やりがいは非常に大きいです。

管理部門 田中 圭

入社をの動機を教えてください。

学生時代にアメリカへの留学経験があり、現地で感じた「個を尊重する風土」は非常に居心地の良いものでした。就職活動でも、海外で活躍するチャンスがある会社を志望しており、その中でKOMORIと出会いました。売上高の7割を輸出が占め、かつ世界中に拠点がある。そのグローバルな事業展開とフィールドの広さに魅力を感じました。

今担当されているお仕事は？

主に、全社の予算管理を担当しています。入社当時は営業職を志望していたため、管理部門への配属はまさに晴天の霹靂でした。また海外との関わりが無い部署というイメージがありましたが、その不安はすぐに一扫されました。KOMORIの管理部門もまた、海外と関わる事が非常に多い職場です。私の仕事のひとつに、全社的な設定予算と大きく差が生じた際、その原因を分析し、経営層に報告する業務があります。その対象として、国内の諸部門だけではなくアメリカの現地法人も担当しています。

海外との関わりについて教えてください。

日々の仕事で一番感じるのが、海外とのコミュニケーションの難しさです。例えばアメリカの現地法人において予算を超過していた場合、その原因を把握できないケースが国内の諸部門以上に頻出します。その際はメールを使ってやりとりをしますが、時差によってすぐに情報が得られないことが多く、「今すぐ現地に行きたい」と思うこともあります。また管理部門でも数多くの社員が海外へ出張しています。海外の会計士とコミュニケーションをとりながら、現地へも頻繁に足を運ぶ。私も早くその様な仕事に携わりたいと思っています。

やりがいを感じる時は？

予算管理の業務には「製品の販売価格に対する妥当性の判断」も含まれます。簡単に言うと、営業担当者がおお客様のご要望に沿った金額を提示する際、事前にその金額が妥当かどうかを判断します。1日10数件の案件を担当しますが、素早くかつ正確に判断することが重要となります。扱う金額も数億円単位と、その責任は非常に重いです。だからこそ、自分達の業務が商談の成否に関わるという大きなやりがいを感じます。

今後の目標を教えてください。

予算管理のスキルを継続して高める一方、キャリアステップとしてマネジメントに興味があります。また将来的には海外で活躍したいという思いも強いです。海外現地法人の責任者として、世界を舞台にKOMORIブランドの国際展開に貢献したいと思っています。